

## 新たに16人の仲間を迎える 西会津高校入学式

今年度の西会津高校入学式が4月8日に同校体育館で行われ、新入生16人が高校生の仲間入りをしました。

式に先立ち、佐藤秀雄校長が西会津高校の校訓である「不撓不屈・質実剛健」を紹介し、「今日の入学式の感動を忘れることなく、感謝の気持ちと強い意志を持って、山あり谷ありの高校3年間を友と理想を語り合いながら無事に完走してほしい」と歓迎と激励の言葉を贈りました。式の最後には、長谷川美玖さん（写真上）が新入生を代表し、「困難にぶつかっても友とともに助け合い、支え合いながら乗り越えていく」と力強く誓いのことばを述べました。



## 32人の児童が希望に胸をふくらませ入学 西会津小学校入学式

4月6日、西会津小学校入学式が西会津中学校多目的ホールで行われ、今年度の新1年生32人が元気に入学しました。

慣れない雰囲気緊張しながら入場した新入生の皆さんでしたが、名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。式では、博多弘泰校長が「新入生の皆さんが瞳をキラキラ輝かせている姿を見て、嬉しい気持ちでいっぱいです。楽しい学校生活にするために、早寝早起き・朝ごはん、楽しく学習する、手洗いやマスクをする、の3つを心掛けましょう」とあいさつしました。その後、新入生を代表して青木俐玖くんが教科書を受け取りました。

# ご入学ご入園おめでとうございます

## 138人の園児が元気いっぱい入園 こゆりこども園入園式

開設から5年目を迎えたこゆりこども園の入園式が4月2日に同園遊戯室で行われました。今年度の入園児は138人ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し、新入園児とその保護者のみが参加する形で式は行われました。

式が始まる前は初めてのこども園に落ち着かない様子が見られた園児たちでしたが、一人一人名前を呼ばれると、元気よく手を挙げて返事をしたり、先生のあいさつに大きな声で答えたりしていました。

入園式では、「友達や先生に早く慣れて、楽しく遊びましょう。毎日元気に通ってきてください」と船橋政広園長があいさつしました。



## 34人の生徒が中学校生活をスタート 西会津中学校入学式

西会津中学校入学式が4月6日、同校多目的ホールで行われ、34人の生徒が新たに入学しました。

式では、佐藤崇史校長が「これからの中学校生活に小学校6年間の学びや経験を生かし、一人一人の夢や希望を実現し、社会の中で生きていける力を身に付けられるよう義務教育の総仕上げの3年間にしましょう」と式辞を述べました。

式の最後には、新入生を代表して清野桜大さんおうだいが教科書を受け取り、大槻茉紘さんまひろ（写真上）が「先生方や先輩方に教えてもらいながら、小学校の卒業式で誓った目標を叶えるために前を向いて一歩ずつ進んでいきたい」と誓いのことばを述べました。



## 発足から3年 日頃の活動が評価される 西会津小学校少年消防クラブが消防庁長官賞

2月22日に消防庁から令和2年度優良少年消防クラブ・指導者表彰が発表され、西会津小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブ（消防庁長官賞）に選ばれました。

3月29日には、西会津小5年の中村玲菜さんらが町役場を訪れ、薄町長が表彰盾を伝達しました。

西会津小学校少年消防クラブは3年前に発足し、西会津小5年生が中心となって、町防災訓練への参加や防火の啓発活動などを行っています。伝達にあたり、薄町長は「コロナ禍で活動が難しい中だが、今後も継続した防火活動をお願いしたい」とあいさつしました。[学年は3月時点]



▲今回の発起人となった池田さん（前列中央）と西会津国際芸術村の矢部佳宏さん（前列左から3番目）と西中生の皆さん

## 東日本大震災から10年の節目に 西中生へ台湾からの贈り物

3月10日、東日本大震災から10年の節目に合わせ、台湾の美術館や博物館から西会津中の生徒の皆さんに台湾の文房具や菓子などが入った福袋が贈られました。台湾との交流は、台湾文芸史の発展に貢献した故 西川満氏（会津若松市出身）の回顧展が平成30年に会津地方で開かれ、その際に関係者が西会津国際芸術村を訪れたことがきっかけで続いています。今回の贈り物は、その回顧展で通訳を務めた池田リイ<sup>チェンラン</sup>茜藍さんが発起人となって実現しました。



## 地域おこし協力隊が日頃の活動を紹介 ミライミーティング2021

町で活動する地域おこし協力隊の活動報告会「ミライミーティング」が、3月20日に野沢体育館で開催されました。今年度はこれまでの発表形式を変更し、参加する隊員がそれぞれブースを設ける形で行われました。各ブースでは、普段活動している様子や成果品などが展示されたり、実際に活動を体験できる場や気軽にお茶飲みをする場が設けられたりして来場者を迎えました。

当日、町内外から訪れた来場者の皆さんは、個人ブースならではのゆったりとした雰囲気の中で、隊員の皆さんとの交流を楽しんでいました。

## 町からは聖火ランナーが2人参加 東京2020オリンピック 聖火リレー

3月25日、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた東京2020オリンピック聖火リレーが栢葉町のJヴィレッジをスタートしました。聖火は、県内各市町村を回り、翌26日夕方に喜多方市へとやってきました。

喜多方市の聖火リレーでは、近隣市町村などから選ばれた12人の皆さんが聖火ランナーを務め、西会津町からは、鈴木俊哲さん（会津学鳳高1年）と滝澤徹也さん（地域おこし協力隊）が聖火ランナーとして喜多方路を駆け抜けました。また、スタート地点の酒造会社前では、大山さゆり太鼓の皆さんが堂々とした演奏を披露し会場を盛り上げたほか、アンカーの後方を走る役割のサポートランナーを齋藤くらさんと長谷川悠斗くん（ともに西会津小6年）が務めました。[学年は3月時点]



1. 2. 聖火ランナーを務めた鈴木さんと滝澤さん / 3. 関係者と記念写真を撮影する齋藤さんと長谷川くん（左から3番目）と長谷川くん（左から4番目）

### ◆東京2020オリンピック聖火リレー 喜多方市コース

